令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　理科　　）　　学年（　１学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

・積極的に授業に取り組む生徒が多い。
・授業で「自分の考えを書いたり、発表する機会がある」、「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている」とほとんどの生徒が感じている。
・授業で「「学ぶ楽しさ」を感じる、「わかった」「できた」と感じる機会がある」という項目に、「あまり当てはまらない、当てはまらない」と回答している生徒も数名いる。

授業等の課題分析

自然科学に対して興味・関心が高い生徒が多い。特に、話し合い活動では、積極的に発言する雰囲気がある。その一方で、取りかかるまで時間がかかる生徒への手立てが必要と考える。

目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。

授業改善のための具体的な方策

〇授業の流れや実験室でのきまりを定着させ、安全に配慮して、取り組む環境を整える。
〇観察や実験技能の定着をはかるため、生徒同士の教え合いの場面を多く設定する。（継続）
〇実験・観察の目的（授業のねらい）や流れをより明確にし、学習内容の振り返りを充実させる。
〇科学的な見方や考え方をはたらかせて、課題を解決するための話し合い活動を充実させる。
〇課題をつかんだり、予想・考察する場面では、既習事項や自分自身の経験と結びつけて理由や根拠を考えられるよう指導をする。
〇積極的に ICT を活用し、実験結果を全体で共有しやすくし、そこから分析する力をつけていく。
〇既習事項の定着をはかるため、学習内容と関連付けたり、復習の時間を確保する。

令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　理科　　）　　学年（　２学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

・積極的に授業に取り組む生徒が多い。「目標が明確に示されている」（回答生徒全員）としつつも、「学習内容を振りかえる場面がどちらかというと当てはまらない」と感じている生徒がいるのが現状である。

授業等の課題分析

自然科学に対して興味・関心が高い生徒が多い。クループ活動では、役割を決め、一人一人が責任をもって取り組めるよう、課題にあわせてメンバーを変えながら取り組んでいる。各クラスともに、協力する姿勢が見られ、グループ内でお互いに考えを出し合い、班で意見をまとめることができる。

目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。

授業改善のための具体的な方策

〇今後も安全に配慮して、取り組む環境を整える。
〇学習内容を振り返る場面では、実験・観察の目的（授業のめあて）に立ち返り、振り返るポイントを明確にする。
〇科学的思考力を高めるための実験・観察レポート指導を充実させる。特に、探究の振り返りでは、課題を意識しながら、結果を分析・解釈することに重点を置いて指導をする。
〇自分の考えをワークシートに記入する時間を確保し、その上で、「話し合い」によって、自分とは異なる視点や考え方を得たり、曖昧だったことが分かるようになったり、「話し合う」ことの重要さを明確にして取り組めるよう指導していく。
〇積極的に ICT を活用し、実験結果を全体で共有しやすくし、そこから分析する力をつけていく。

令和５年度　授業改善推進プラン

担当教科（　　理科　　）　　学年（　３学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

・授業で「自分の考えを書いたり、発表する機会がある」、「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができている」と回答した生徒全員が感じていることから、3 年間を通して取り組んでいることが定着してきた成果と考えた。
・授業で、「「学ぶ楽しさを感じる」」という項目では「あまり当てはまらない、当てはまらない」と回答している生徒が数名いる。

授業等の課題分析

・3 年間の学習内容で（既習事項）で、興味のある分野や得意な分野にばらつきがあり、定着が不十分である。
・3 年間を通して、自分の考えを深め、広げられるように「予想→話し合い活動・結果→考察」の流れで、行ってきた。クラス全体で教え合う姿も多くみられるようになっている。また、太陽の一日の動きや植物の観察など継続して行っている中で、興味を持って観察する姿や小さな変化に気づく生徒が増えてきている。

目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。

授業改善のための具体的な方策

〇今後も安全に配慮して、取り組む環境を整える。
〇実験・観察の目的（授業のめあて）や流れをより明確にし、学習内容の振り返りを充実させる。（継続）
〇科学的思考力を高めるための実験・観察レポート指導を充実させる。特に、探究の振り返りでは、課題を意識しながら、結果を分析・解釈することに重点を置いて指導をする。
〇今後もＩＣＴや新聞記事などを積極的に活用し、課題に対して、自分ごととしてとらえたり、考えをまとめる機会を設定したりして、社会とのつながりを実感できる場を意識的に設定していく。
〇３年間の学習内容の定着をはかるため、現在の学習内容と関連する分野を適宜復習する時間を確保する。